

平成24年度 医療安全管理の取組について【概要】

－ 医療事故・医療安全の取組の報告 －

【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成24年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表します。

1 平成24年度中に発生した一括公表を行う医療事故の件数

「横浜市病院経営局における医療事故の公表に関する指針」6 医療事故の公表基準(3) (別添資料をご参照ください。)に基づき、過失によることが明らかな医療事故(患者に重大な結果が発生した医療事故を除く。)について、年1回一括して公表するもので、平成24年度は、該当する案件はありませんでした。

	22年度	23年度	24年度	対前年度 増 減
市民病院	0件	1件	0件	△1件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	0件	1件	0件	△1件

2 主な医療安全の取組について

(1) 市民病院

① 部門を超えたスタッフ間の連携の促進

多職種によるプロジェクトや自主的な検討により、「心臓疾患患者胸痛時対応マニュアル」の作成をはじめ、各種マニュアルの作成や改訂に取り組みました。

② 転倒・転落防止の取組

前年度作成した入院中の睡眠薬使用に関する方針の運用徹底や、転倒・転落を防ぐ備品の効果的な管理など、患者さんの転倒・転落防止に継続的に取り組みました。

(2) 脳血管医療センター

① 確認行為の周知徹底

自己評価アンケート等による現状評価や職員研修を通じた啓発により、各部署で定めた確認場面での「指さし・声出し」の徹底に取り組みました。

② 専任薬剤師の病棟配置

一般病棟に専任の薬剤師を配置し、薬剤師の専門性を活かしたチーム医療の推進や、医薬品の適正使用の推進など、安全の向上を図りました。

3 インシデント報告件数

	22年度	23年度	24年度	対前年度 増 減
市民病院	2,976件	3,232件	2,996件	△236件
脳血管医療センター	1,327件	1,076件	973件	△103件
計	4,303件	4,308件	3,969件	△339件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント： 医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。